

第3学年 特別の教科 道徳 学習指導案

第3学年2組

- 1 主題名 より良い学校に C 勤労、公共の精神
- 2 教材名 「学校のぶどう」 (出典：光村図書「どうとく」)
- 3 本時

(1) ねらい

学校のぶどうの世話をしてくれる人や上級生の話を聞いて、それを手伝おうとする姿などを通して、より良い学校にするために、一人一人ができることを考えさせ、楽しい学校をつくろうとする実践意欲を育てる。

(2) 展開

	主な学習活動 ○発問 ・児童の活動	○指導上の留意点 ☆評価
導入	(1) 学校の好きなところを出し合う。 ○あなたは、学校のどんなところが好きですか。 ・運動場の遊具が楽しい。 ・みんなと話し合いながら勉強することが楽しい。	○教師や職員、友達などの人物や、行事の思い出、児童が親しんでいる学校の設備など、視点を挙げて考えさせる。
展開前段	(2) 教材を読んで考える。 ① ぶどうの世話をする安田さんや、さいばい委員の人たちの話を聞いて、和広と正太は、どんなことを考えていたでしょう。 ・冬の間も世話するのは大変だ。 ・お世話してくれている人がいるから育っている。 ② 和広と正太は、どんな思いで「お手伝いしてもいいですか。」と言ったのでしょうか。 ・手伝えば早く終わる。 ・自分も協力したい。 ・もっとより良くなるように手伝いたい。	○一つ一つの作業の多くの手間がかかっていることを確認し、その上で、和広や正太の思いを捉えさせる。 ○「自分たちがしなくても、任せてもいいのでは。」などと、補助発問を行い、学校のために、自分ができることをしようとする姿を意識させる。
展開後段	③自分自身の生活に振り返って考える。 ○ 学校のために、自分ができそうなことはどんなことですか。 ・教室を毎日きれいにする。 ・たてわりはんの活動で、下級生の世話をしたい。 ・学校 みんなが仲良しの生活にしたい。	○考えが思いつかない児童に対しては、身近な学校生活について振り返る場面を設定する。 ☆ 学校のために、自分にはどんなことができそうかを考えている。(ワークシート・発表)
終末	(3) 「つなげよう」を読む。 ○この学校でも働いてくれている人がいますね。どんなことをしてくれているでしょう。 ・交通安全擁護さんが登下校の見守りをしてくれている。 ・主事さんが朝学校をきれいにしてくれている。	○登下校の様子や、いつも校庭がきれいな状態であることをヒントとして与え、思い浮かぶようにする。